

### 3) 湿地実態調査結果

#### (1) 湿地実態調査結果

図 4-6-4 に示すように、対象事業実施区域内には 5 箇所の湿地 (A、C、D、E、F 湿地) が分布している。

湿地実態調査は、各湿地周辺の湧水状況、湿地の分布状況を把握することを目的に、夏季と晩秋季の 2 回実施した。湿地実態調査結果は、図 4-6-14～図 4-6-18 および写真 4-6-1～写真 4-6-5 に湿地分布状況とともに湿地周辺の湧水実態を整理して示した。以下に各湿地の状況を示す。

##### 【A 湿地】(図 4-6-14, 写真 4-6-1 参照)

- ・ 湿地面積は、約 2,230m<sup>2</sup>、このうち乾性地在夏季で約 200m<sup>2</sup>、晩秋季で約 390m<sup>2</sup>となり、晩秋季で乾性地在広がっている。
- ・ 上流からの河川水 (Y-8) は、降雨時以外途中で伏流し、湿性地向の地表流の流入が無いが、湿地上流部において夏季で 1860/分、晩秋季で 1620/分の湧水が認められる。
- ・ 湿地分布域には、数箇所の湧水が認められる。特に右岸側で顕著な湧水分布を示している。
- ・ 湿地区間の河川増加量は、夏季で 9840/分、晩秋季で 1,0410/分となっている。

##### 【C 湿地】(図 4-6-15, 写真 4-6-2 参照)

- ・ 湿地面積は、約 4,100m<sup>2</sup>、このうち乾性地在夏季で約 290m<sup>2</sup>、晩秋季で約 290m<sup>2</sup>となり、夏季、晩秋季とも変化が少ない状況である。
- ・ 上流からの河川流入はなく、流域の源頭に位置している。
- ・ 湿地分布域には、数箇所の湧水が認められる。特に右岸側で顕著な湧水分布を示している。
- ・ 湿地区間の河川増加量は、夏季で 1460/分、晩秋季で 1290/分となっている。

##### 【D 湿地】(図 4-6-16, 写真 4-6-3 参照)

- ・ 湿地面積は、約 7,190m<sup>2</sup>、このうち乾性地在夏季で約 2,000m<sup>2</sup>、晩秋季で約 3,230m<sup>2</sup>となり、晩秋季で乾性地在広がっている。
- ・ 上流からの河川流入はなく、流域の源頭に位置している。
- ・ 湿地分布域は、上流に小さな湿地が 2 箇所分布し、下流部に比較的広く分布している。
- ・ 湿地区間の河川増加量は、夏季で 2880/分、晩秋季で 3130/分となっている。

##### 【E 湿地】(図 4-6-17, 写真 4-6-4 参照)

- ・ 湿地面積は、約 4,110m<sup>2</sup>、このうち乾性地在夏季で約 700m<sup>2</sup>、晩秋季で約 700m<sup>2</sup>となり、夏季、晩秋季とも変化が少ない状況である。
- ・ 上流からの河川流入はなく、流域の源頭に位置している。
- ・ 湿地分布域には、数箇所の湧水が認められる。特に左岸側で顕著な湧水分布を示している。
- ・ 湿地区間の河川増加量は、夏季で 370/分、晩秋季で 1160/分となっている。

##### 【F 湿地】(図 4-6-18, 写真 4-6-5 参照)

- ・ 湿地面積は、約 5,950m<sup>2</sup>、このうち乾性地在夏季で約 630m<sup>2</sup>、晩秋季で約 1,220m<sup>2</sup>となり、晩秋季で乾性地在広がっている。
- ・ 上流からの河川 (Y-11) は、夏季途中で伏流し、湿性地向の地表流の流入が無いが、晩秋季では 520/分の流入が認められる。
- ・ 湿地分布域には、数箇所の湧水が認められる。特に左岸側で顕著な湧水分布を示している。
- ・ 湿地区間の河川増加量は、夏季で 2950/分、晩秋季で 3100/分となっている。

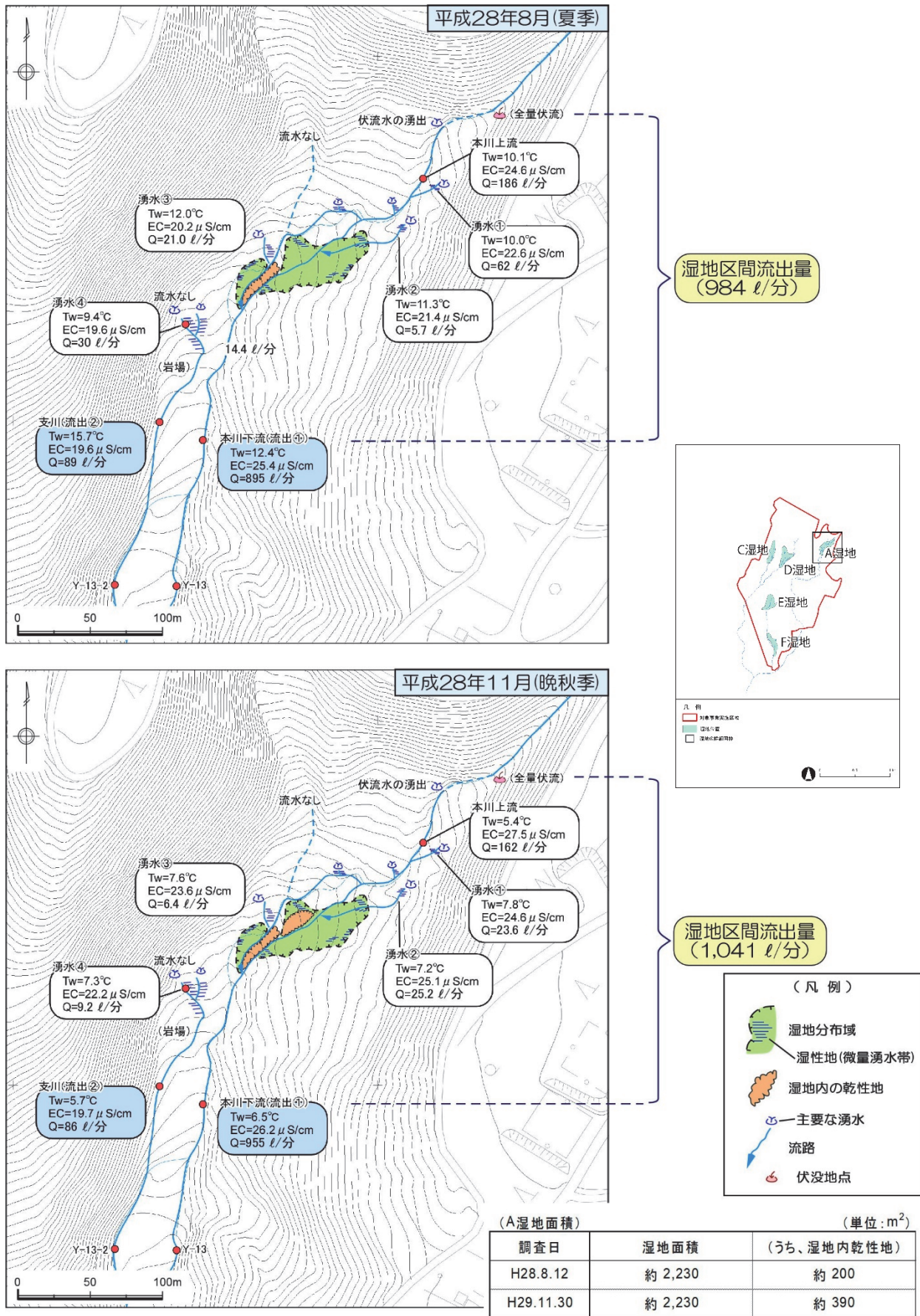


図 4-6-14 湿地実態調査結果 (A湿地)



A 湿地状況（夏季）



A 湿地状況（晩秋季）



A 湿地下流の河川水（夏季）



A 湿地下流の河川水（晩秋季）

写真 4-6-1 A 湿地の状況

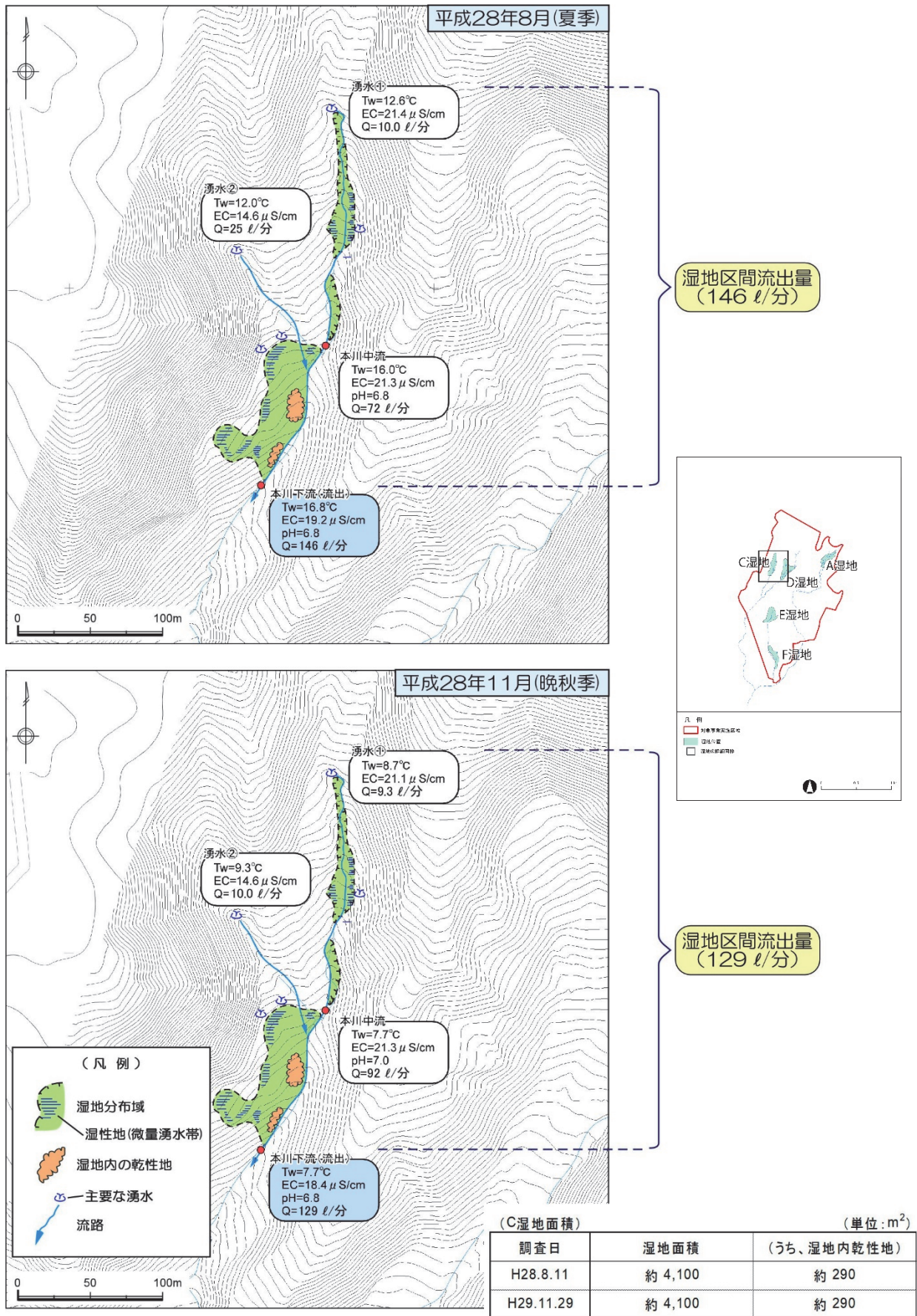
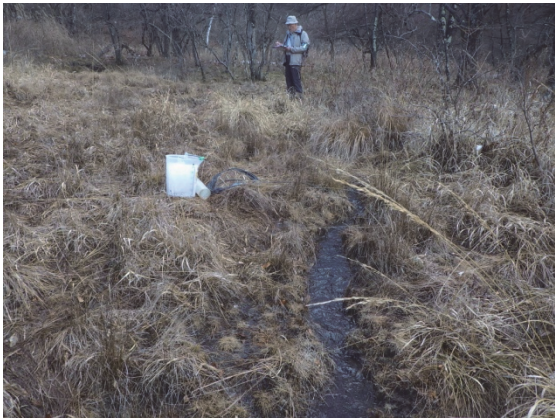


図 4-6-15 湿地実態調査結果 (C湿地)



C 湿地状況（夏季）



C 湿地状況（晩秋季）



C 湿地下流の河川水（夏季）



C 湿地下流の河川水（晩秋季）

写真 4-6-2 C 湿地の状況